

2012年第1回日本地球化学会評議員会議事録

日時: 2011年2月11日(土)12:00-17:30

場所: 東京工業大学大岡山キャンパス石川台2号館315号室

出席者: 吉田会長、山本副会長、清水監事(オブザーバー参加)、板井、岩森、小畑、折橋、下田、高橋、谷水、谷本、角皆、原田、日高、平田、益田、丸岡、南、塚本、横山、豊田の各評議員

欠席者: 植松、川幡、佐野評議員

1. 会長挨拶 「会員」「活動」「国内連携」「国際連携」の各項目について、今期の課題と活動方針が示された。

2. 審議事項

2.1. 議事録の承認手順について

前期と同様に、今期もメールにて回覧、評議員会で承認(読み上げは省略)することが確認された。

2.2. 評議員の追加委嘱について

2011年度第4回評議員会後の新評議員会合で提案された、豊田栄会員に評議員を委嘱する件について、役員選出細則第6条3「評議員の追加選出」に基づき2012年1月1日付けで承認した。

2.3. 国際文献印刷社との2012年度契約(業務委託、年会関連、HP制作)が承認された。

2.4. GJ出版に関わるテラパブとの2012年度覚書について、文言の微修正の後、承認された。

2.5. 2012年度学会賞等選考委員長、鳥居基金委員長、名誉会員推薦委員が承認された

2.6. 学会パンフレット改訂について(原田広報幹事)

5-6月の国内・国際学会での配布に向けての改訂案が示されたが、時間と費用をかけて抜本的な改訂をすべきとの意見が出され、今年は微修正にとどめるかどうかを含め、広報委員会で再検討することとなった。

2.7. JSPS育志賞、文科省科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者、若手科学賞候補者推薦依頼の扱いについて(前期評議員会からの申し送り事項)

会員からの推薦に基づき、候補者を会長、副会長が決定し、評議員会(メール会議含む)で承認することとした。

2.8. 地球惑星連合大会プログラム委員の選定について(前期評議員会からの申し送り事項)

学会とコンビーナーの橋渡し役、本会主催のセッション(今年は2件)に対する共催問い合わせへの対応などを行う、プログラム委員の選定方法を明確にした。3名の委員を置き、任期3年、毎年1名交代とし、2月の評議員会にて承認する。今年はこれまで委員を務めてきた角皆潤会員が小畑元会員と交代することが提案され、承認された(他の2名については下田玄、鈴木勝彦両会員が継続)。

2.9. 国際文献が保管している和文・英文誌在庫の処分について (豊田庶務幹事)

保管料の節減効果、電子化に伴う必要性の低下を考慮し、ハードカバーで製本されたGJと和文誌(39巻まで)、古いNewsやDVDなどについて廃棄処分することが提案された。メールニュースで通知し、希望者に譲渡した上で、残りを処分することとした。また、ソフトカバーのGJ、和文誌は、5部(ただし過去3年分は30部)保管、年会要旨集は1冊ずつ保管し、残りは処分することが承認された。

2.10. GJ賞選考について

共著者数が多い受賞論文に対して、従来どおり著者全員に楯を授与すべきかどうかについて議論し、論文に対して楯を1個、著者全員に賞状を授与することとした。あわせて、例年受賞者の決定が遅れて Goldschmidt 国際会議での表彰式出席や受賞者記念講演が困難となっている問題について、その改善策が議論された。今年の掲載論文を対象とするGJ賞選考スケジュールについては塚本編集委員長が検討し、必要があれば受賞者選考細則を改訂する。

2.11. 広告募集について

和文誌、ホームページ広告の申込みが少なく、学会収入の減少が危ぶまれることから、積極的に企業に依頼をしていく必要性が確認された。庶務幹事の業務を低減するため、企画幹事が年会LOCと連携して展示企業に勧誘することとした。

3. 報告事項等

3.1. 庶務(豊田幹事)

3.1.1. 各種委員会等のメンバー決定について(敬称略)

(1)タスクフォース:吉田主査

学会組織改革TF:副会長2名体制その他の組織改革について検討し、必要に応じ規則改正案をまとめる。山本副会長(副査)、板井、植松、下田、角皆、丸岡の各評議員

Goldschmidt 国際会議(GC)開催検討 TF: 開催場所、開催時期、共催をするか否か、共催の場合の日本の役割等について検討する。平田(副査)、益田、佐野の各評議員および鈴木勝彦、上野雄一郎の各会員

(2)将来計画委員会: 山本委員長の下に3つのワーキンググループ(WG)を置く

将来計画WG: 出来る限り若い会員に10年後の学会のあり方を想定して頂き、学会の変えるべきところ、取り入れるべきところを提案・議論する。山本副会長(主査)、丸岡(副査)、板井(副査)、平田、日高の各評議員および川口慎介、瀬戸繭美、大塚高弘の各会員

Geochemical Journal (GJ)出版WG: GJ出版に関して来年度から新しい契約に入るためテラ学術図書出版と調整し、新しい契約書の作成を行い、本年の総会にて承認を得る。また、DOI取得と公開や将来のオープンアクセス化等についても議論を行う。山本副会長(主査)、折橋(副査)、高橋、谷水、谷本の各評議員および鍵裕之会員

法人化WG: 近い将来法人化すべき時に慌てないように、準備を含めて議論を進める。山本副会長(主査)、川幡(副査)、小畑の各評議員

3.1.2. 協賛、共催、後援

第17回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会(2011年6月16-17日、廃棄物資源循環学会など主催、川崎市、後援)、地熱学会平成23年学術講演会(2011年11月9-11日、指宿市、協賛)、第18回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会(2012年6月14-15日、地盤工学会など主催、さいたま市、後援)、第49回アイソトープ・放射線研究発表会(2012年7月9-11日、東大農学部、共催、運営委員:村松会員)、国際火山学地球内部化学協会2013年学術総会(IAVCEI2013 Scientific Assembly, 2013年7月20-24日、日本火山学会主催、鹿児島市、後援)

3.1.3. 引継幹事会(2011年12月18日(日)12:00~15:30、東大理学部)

海老原前会長、三澤、丸岡、鍵、谷水の前幹事、吉田現会長、山本現副会長、川幡、原田、下田、平田、南、豊田の現幹事が出席して引継事案の確認等を行った。

3.1.4. メール審議

「TF設置について」(2012年1月10日、会長提案)および「学会からのお知らせ「大震災関連」(8)について」(2012年1月20日、会長提案)が評議員会に先立ちメールで審議され、承認された。

3.1.5. 2012年第1回幹事会(2011年2月4日(土)12:00-17:05、JAMSTEC東京事務所)

吉田会長、山本副会長、塚本・GJ編集委員長、高橋・和文誌編集委員長、川幡、下田、原田、平田、南、豊田の各幹事が出席し、第1回評議員会の議案整理を行った。

3.1.5. 学会賞、鳥居基金の推薦、応募について

1月31日に締め切った。学会賞1件、奨励賞3件、功労賞1件の推薦と、鳥居基金6件の応募があった。

3.1.6. GJ賞について

佐野前編集委員長が候補者を選考中、学会賞等受賞者選考委員会に送付予定。

3.1.7. 広告・協賛企業申込

協賛企業(ホームページ広告およびメールニュース広告):三洋貿易(新規)、テラパブ、オーレック(継続、確認中)

和文誌「地球化学」:フリッチュ・ジャパン(1~4号)、大陽日酸(2,4号)

3.1.8. 2011年度の広告費請求

「地球化学」:4号分まで済。(三澤前幹事)。

HP:オーレック(4月~)とテラパブは済み(テラパブはGJ売上金と合算予定)。

3.1.9. 科研費(GJ研究成果公開促進費)状況報告書、実績報告書(三澤前幹事が対応予定)

3.1.10. 日本学術会議男女共同参画分科会アンケート調査への回答、日本化学連合第5回シンポジウム「共に生きよう 世代を超えて—今後の日本の科学技術・教育を考える」と交流会の案内

3.1.11. 今後の幹事会・評議員会予定

第2回幹事会:5月(地球惑星科学連合大会期間中)、第2回評議員会:6月(メール会議)、第3回幹事会:9月1日(土)、第3回評議員会:9月10日13:00 九州大学

3.2. 広報(原田幹事)

3.2.1. 今期広報委員(大木淳之、乙坂 重嘉、小畑元、下田 玄、鈴木勝彦、平野直人、三村耕一、山下勝行、山口耕生の各会員および川幡ニュース幹事、山本副会長)の紹介

3.2.2. 学会ホームページ(HP)

新年度の更新がほぼ終了した。中規模の改訂を検討している。学会ニュースやHPへ情報提供する際の書式はテキスト形式(メールのベタ打ち可)でお願いしたい。業者のHP広告を募集しているので、協力をお願いする。HP広告掲載企業(協賛企業)はニュースメールによる広告配信も可能となっている(年12回まで)。

3.2.3. 講師派遣事業

2012年2月現在の派遣講師登録は48名、派遣依頼1件(埼玉県上尾市立西中学校、瀧上豊会員を2月に派遣予定)

3.2.4. 学会ブース

連合大会(5月)は2スパン申請中、GC2012(カナダ・モントリオール、6月)は申請準備中。年会(九州大、9月)は「地球と宇宙の化学事典」の出版が間に合えばブースを出す予定。

3.2.5. その他

学会パンフレット、ショートコースパンフレットを連合大会の本会主催・共催セッションの会場入り口に置く。GC2012 での学会パンフレット配布について交渉予定。

3.3. 企画(平田幹事)

3.3.1. 2012年日本地球惑星科学連合大会(5月20~25日、幕張メッセ)

参加登録受付中、要旨投稿は2/17締切。本会が活動支援してきた「固体地球化学・惑星化学」(固体地球化学セッション:コンビーナ下田、鈴木(勝)、山下会員)に加え、今年から「地球化学の最前線」(領域外・複数領域セッション:コンビーナ高橋、平田、角皆、鍵、鈴木、横山(祐)、横山(哲)、小畑、橋会員)が新たに立ち上げられた。

3.3.2. 2012年Goldschmidt国際会議(6月24-29日、カナダ・モントリオール)

要旨投稿は受付終了、参加登録は4月20日締切。本会は協賛金(\$3,000)を支援する予定。本会会員は登録費割引(100ドル)がある。学会公式ホームページ(home)には本会のロゴは掲載されていないが、Partners' sectionに掲載される予定。

3.3.3. 第59回日本地球化学会年会(2012年9月11日(火)~13日(木)、九州大学)

2月14日に実行委員会(委員長:吉村和久会員)が開催され基本方針が決定される。学会HPに概要を掲載予定(広報担当:石橋委員、栗崎委員)。年会前日にショートコースを開催予定。講師は、原田、丸岡、飯塚の各会員他2名(交渉中)。連合大会までにプログラムを決定し宣伝する。

3.3.4. その他

鍵前企画幹事から連合大会の総務委員、ショートコース企画運営、横浜国立大学CST(コアサイエンスティーチャー)プロジェクトの支援について引き継ぎ行った。

3.4. 会員(下田幹事)

会費納入期限(1/31)以降、会費未納者に対して督促請求のための手紙を送付予定(3月及び6月)であること、2回目の納入期限は、例年7月31日であることが報告された。また、会員数の年齢分布が報告され、最年少19才、最高齢94才で高齢側に広い裾野をもつ分布であることが示された。本会として、若年層(10-20代)や海外の会員を増やす努力をしてはどうかとの意見が出された。

日本地球化学会会員数(2012年1月31日)

会員種別	人数	契約口数	GJ冊子希望	GJ冊子不要
一般正会員	727		307	420
学生正会員	127		69	58

うち、学生パック (33)	(16)	(17)
シニア正会員 58	30	28
賛助会員 10 10	9	1
名誉会員 11	6	5
合計 933	421	512
(寄贈)	17	
(GJ発送総数)	438	

会員異動(2011/0901～2012/01/31)

【入会】

9月

会員番号	会員名	会員種別
9282686	前田 俊介	学生パック
9282709	得丸 絢加	学生パック
9282754	高野 祥太郎	学生パック
9282755	氷上 愛	学生パック
9282762	川崎 教行	学生パック
9282770	小森 昌史	学生パック
9282773	江本 真理子	学生パック
9282775	Mikhail Vasilev	学生正会員
9282776	宮地 俊作	一般正会員
9282779	野坂 裕一	学生パック

10月

9282780	牧田 寛子	一般正会員
---------	-------	-------

11月

9282777	大森 裕子	一般正会員
---------	-------	-------

12月

なし

1月

9282781	鹿児島 涉悟	学生正会員
9282782	木村 裕也	学生正会員
9282783	長谷 和磨	学生パック

9282784	尾上 哲治	一般正会員
9282785	加藤 ともみ	学生パック
9282786	長島 佳菜	一般正会員
9282787	清水 美早	学生パック
9282789	三洋貿易株式会社 賛 助	

【退会】

11月

会員番号	会員名	会員種別	備考
2280406	小坂 丈予	シニア正会員	2011/11/23逝去
6280549	杉原 健	シニア正会員	2011/11/25逝去

12月

9282577	出水翔	学生正会員
9282590	馬瀬輝	学生正会員
4281746	井上元	一般正会員
281294	平井 昭司	一般正会員
1281576	矢吹 貞代	一般正会員
1282092	村中 健	一般正会員
4281791	寺井 久慈	一般正会員
6281281	溝田 智俊	一般正会員
7281273	近藤 寛	一般正会員
8281469	吉田 武義	一般正会員
9280322	宮崎 章	シニア正会員
9280902	田上 英一郎	一般正会員
9282388	渡部 慎一	一般正会員
9282394	荒川 雅	一般正会員
9282410	小竹 翔子	一般正会員
9282489	代田 里子	学生正会員
9282554	柏山 祐一郎	一般正会員
9282611	小澤 萌	学生正会員
9282654	柘植 研一	一般正会員
9282663	中村 明博	一般正会員
9282679	西本 礼香	学生パック
9282681	松本 祐介	学生パック
9282708	斎藤 直樹	学生パック

9282719	大木 可奈子	一般正会員
9282722	奥地 拓生	一般正会員

1月

281164	今井 登	一般正会員
1282274	本郷 やよい	一般正会員
3282087	吉田 崇宏	一般正会員
8281652	塚原 弘昭	一般正会員
9280742	根建 心具	一般正会員
9282634	近本 めぐみ	一般正会員
9282666	片岡 良輔	学生パック
9282667	伊藤 由喜	学生パック

【会員種別変更】

11月

会員番号	会員名	変更前	変更後
1280588	田中 剛	一般正会員	シニア正会員
2280150	石渡 良志	シニア正会員	名誉会員
3280595	高岡 宣雄	シニア正会員	名誉会員
4282198	柴田 信之介	学生正会員	一般正会員
6280680	脇田 宏	シニア正会員	名誉会員

12月

9282400	宮川 和也	学生正会員	一般正会員
9282508	松岡 かおり	学生正会員	一般正会員

1月

9282658	濱崎 浩	学生パック	学生正会員
9282659	河野 麻希子	学生パック	学生正会員
9282662	横山 由佳	学生パック	学生正会員
9282668	城森 由佳	学生パック	学生正会員
9282669	太田 祥宏	学生パック	学生正会員
9282670	磯山 陽子	学生パック	学生正会員
9282671	高橋 幸士	学生パック	学生正会員
9282675	ヴェティジュウ	フオン学生パック	学生正会員
9282678	吉村 寿紘	学生パック	学生正会員

9282680	深井 恵	学生パック	学生正会員
9282684	吉田 知紘	学生パック	学生正会員
9282685	森島 唯	学生パック	学生正会員
9282688	関谷 朋子	学生パック	学生正会員
9282689	森脇 絵美	学生パック	学生正会員
9282690	山本 真里子	学生パック	学生正会員
9282691	今井 崇暢	学生パック	学生正会員
9282693	窪田 薫	学生パック	学生正会員
9282694	尾崎 和海	学生パック	学生正会員
9282695	片山 樹里	学生パック	学生正会員
9282696	岡林 識起	学生パック	学生正会員
9282697	山崎 香奈	学生パック	学生正会員
9282700	山中 康平	学生パック	学生正会員
9282701	村井 彰宏	学生パック	学生正会員
9282702	吉田 怜	学生パック	学生正会員
9282703	佐野 和広	学生パック	学生正会員
9282704	太田 朋子	学生パック	学生正会員
9282705	高田 理恵	学生パック	学生正会員
9282706	丸山 浩司	学生パック	学生正会員
9282710	福田 美保	学生パック	学生正会員

【除名】

会員番号	会員名	会員種別
1280629	堤 克彦	一般正会員
8281168	今井 嘉彦	一般正会員
8281599	Jedrysek,Mariusz O.	一般正会員
9282331	早津 岳宏	一般正会員
9282374	Fu, Ching-Chou	学生正会員
9282418	荘山 英敏	学生正会員
9282420	塚本 英智	学生正会員
9282448	江守 建太	学生正会員
9282495	白石 智一	学生正会員
9282502	竹谷 裕	学生正会員
5280096	平木 敬三	シニア正会員

3.5. 会計(南幹事)

谷水前会計幹事から引継ぎ中であること、今年度の評議員旅費、幹事経費の支給方針について報告があった。2月の幹事会および評議員会を同日開催とすることで旅費を削減できるのではないか、との意見が出された。

3.6. 和文誌「地球化学」(高橋編集委員長)

3.6.1. CiNiiでの創刊号以降の全文公開開始

国立情報学研究所(NII)の論文情報ナビゲータCiNii(サイニイ)において、和文誌の創刊号～40巻4号までの論文PDFがオープンアクセスとなった(http://ci.nii.ac.jp/organ/journal/INT1000004240_ja.html)。41巻1号～44巻4号は掲載準備中、45巻1-2号は掲載済み(ただし、発刊後2年間以内なので非公開)。

3.6.2. 新編集委員の報告

12月末で一部委員交代(編集長に準じ、委員の任期も2年を目安とした)。今期の編集委員は井上麻夕里、小畑元、小木曾哲、高野淑識、田中万也、谷水雅治、松本潔の各会員。

3.6.3. 発刊予定

【2012年Vol.46, No.1】

企画総説「地球化学の最前線」:吉村寿紘、谷水雅治、「炭酸カルシウムのCa, Mg安定同位体分別」
日本地球化学会奨励賞受賞記念論文:中村謙太郎、「海底熱水系における水-岩石反応の地球化学」
報文:猪狩俊一郎、「油ガス田地域(新潟)と非油ガス田地域(茨城・群馬)における軽質非メタン炭化水素濃度の比較 II, 1994年-1999年冬季」
報文:尾崎宏和、油谷有紀、鈴木大輔、渡邊 泉、「奄美大島表層土壌における高レベル有害元素濃度および生物可給リスク」

【2012年Vol.46, No.2】

東北東日本大地震関連ミニ特集

地球化学会としての取り組み(主に放射能調査):海老原(首都大)、今回の地震の特徴について:加藤愛太郎(地震研)、放射能の陸域・海洋への飛散:鶴田治雄(東大大気海洋研)、企画総説1件(検討中)

【2012年Vol.46, No.4】

特集号「地殻流体」(編集担当:小木曾哲、横山哲也、岩森光)

【2013年について】

2013年は地球化学会50周年(前身の地球化学研究会から数えて60周年)となるので、「地球化学会の歩み」を書いて下さる方を探している。また、はやぶさ関連の特集号の案あり。

3.6.4. 今後2年間の課題

(1)GJの表紙変更に伴う、「地球化学」表紙の改変検討、(2)インパクトファクターを付与するための作業、(3)支出超過(2011年、約20万円)の改善、(4)論文投稿数の減少、が報告された。(2)についてはGJの被引用数が増える効果が期待できるとの意見、(3)についてはページ超過やカラーページに対してページチャージを徴収すべきとの意見が出された。

3.7. GJ(塚本編集委員長)

3.7.1. 発行・編集状況(2月2日現在)

2011年vol. 45, no. 6は2012年1月に発行され、2012年 vol. 46, No. 1は2月に発行予定。投稿受付が2011年12月31日までの論文を佐野前編集委員長、2012年1月1日以降の論文を塚本委員長がそれぞれ取り扱う。投稿数は14報、うち受理0、却下1、審査中10、AE選考中3、取り下げ0となっている。2011年ゴールドシュミット会議「Fukushima Review」および第58回年会「災害による環境汚染および復興の地球化学」に基づく特集号の提案(海老原(首都大)、吉田(東工大)、高橋(広島大)の各会員)を受け付けた。

3.7.2. その他

副編集長として鍵(東大)、角皆(北大)、Kumar(静大)、Fagan(早大)の各氏を選出したとの報告があり、承認された。天川、平田、Dalai各氏がAEを辞退したことから、AEの補充を検討している旨の報告があった。

3.8. 学会組織改革TF(吉田会長)

TF設置の趣旨が吉田会長、山本副会長から説明された。今後TFが作成する素案をもとに、評議員会でも議論していくことを確認した。

3.9. GC開催検討TF(吉田会長)

趣旨説明の後、2016年または2020年のGC開催地として日本が立候補することの是非、2016年の中国との共催の可能性について意見交換を行った。

3.10. GJ出版WG(山本副会長)

1月28日(土)にテラ学術図出版社の担当者も出席して開かれた第1回WG会合についての報告があった。GJ冊子体を有料とする案について、販売価格の妥当性や会則変更の必要性についての意見が出された。

4. その他

4.1. 「学術情報発信 緊急説明会」および科研費「研究成果公開促進費」改善に関する文科省意見交換会について

川幡評議員から提供された資料をもとに、地球惑星科学連合が計画しているジャーナルに対してGJをどのように位置づけて出版助成の申請をするべきかについて、意見交換を行った。情報収集の必要性和状況に応じた速やかな決断が迫られる可能性について確認し、今後の議論はGJ出版WGで行うこととした(川幡評議員にWGメンバー参加を依頼予定)。2月17日に開かれる連合の緊急説明会には会長代理として折橋評議員(兼WGメンバー)が出席することになった。

(庶務幹事・豊田栄)